

Nordic Market Biweekly Report

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

情報提供資料

2015年1月9日

★為替・金利の動向

対円レート推移
(2014年12月25日～2015年1月8日)

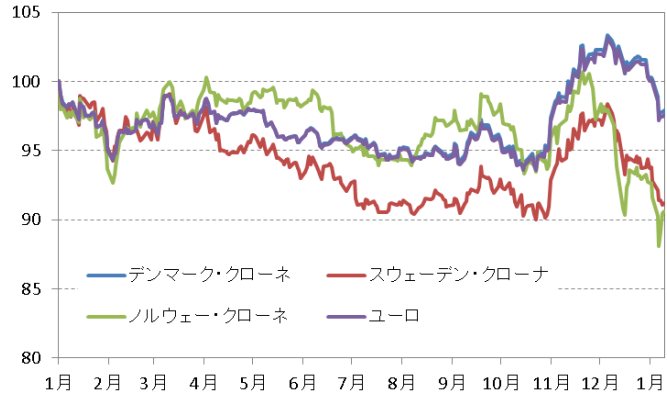
※単位は円

	12月25日	1月1日	騰落率	1月8日	騰落率
ノルウェー・クローネ	16.16	16.07	-0.6%	15.69	-2.4%
スウェーデン・クローナ	15.45	15.35	-0.7%	14.90	-2.9%
デンマーク・クローネ	19.74	19.46	-1.4%	18.97	-2.5%
ユーロ(フィンランド)	146.82	144.94	-1.3%	141.12	-2.6%

北欧4カ国通貨は上記期間中、対円で下落しました。ECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁がユーロ圏のデフレリスクとQE(量的緩和)実施を示唆したことや、ギリシャのサマラス首相が、ギリシャのユーロ圏離脱可能性に言及したことが嫌気され、ユーロを中心に欧州通貨は対円で下落しました。また、原油価格の冴えない動きもノルウェー・クローネにとっては重しとなりました。

対円レート推移
(2014年1月1日～2015年1月8日)

※2013年末を100として指数化



出所:ブルームバーグデータをもとに当社作成

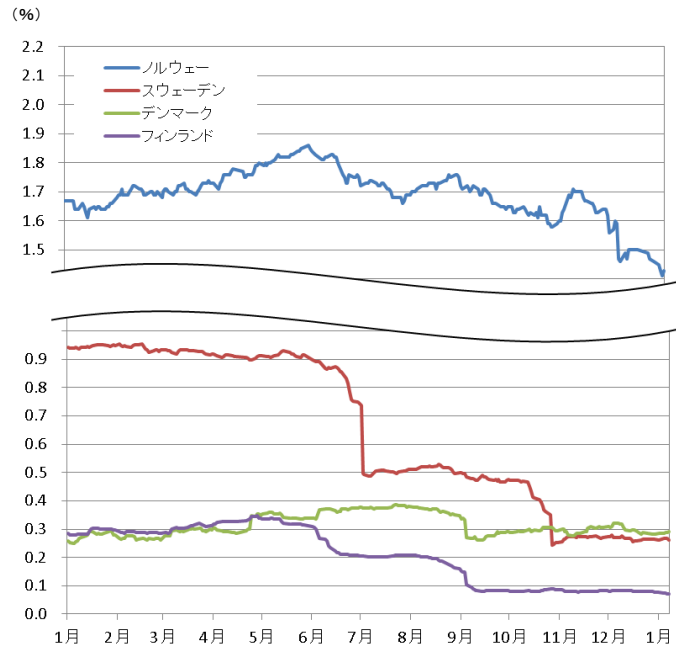
銀行間取引金利3カ月物推移
(2014年12月23日～2015年1月8日)

※単位は%

	12月23日	12月30日	変動幅	1月8日	変動幅
ノルウェー	1.500	1.470	-0.030	1.430	-0.040
スウェーデン	0.265	0.264	-0.001	0.260	-0.004
デンマーク	0.288	0.283	-0.005	0.290	0.007
ユーロ圏(フィンランド)	0.079	0.078	-0.001	0.070	-0.008

北欧4カ国の銀行間取引金利は上記期間中、デンマークを除いて低下しました。上述のドラギ総裁による大規模な追加金融緩和への言及に加えて、12月のユーロ圏消費者物価指数が事前予想を下回る0.2%の下落となったことがユーロ圏での金利低下圧力となりました。12月のノルウェー製造業PMIが節目の50を割り込む結果となったことを受け、追加金融緩和観測が強まり、同国の短期金利は低下しました。

銀行間取引金利3カ月物推移
(2014年1月2日～2015年1月8日)



【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、北欧の資本市場と政治、経済等に関する情報を提供することを目的として作成したものです。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。

☆北欧ニュース

＜ババリアン・ノルディック(デンマーク・製薬)のエボラ熱ワクチン、治験開始＞

ババリアン・ノルディックが開発中であるエボラ出血熱のワクチンの臨床試験が英国のオックスフォード大学で始まりました。今回の臨床試験はフェーズ1と呼ばれる安全性の検証が中心となる試験ですが、同社は2015年2月中にはフェーズ2とフェーズ3へと開発を進める意向です。エボラ出血熱により、西アフリカでは既に8,000人以上が犠牲になったといわれ、有効なワクチン開発が待たれています。ワクチン開発は同社と米ジョンソン・エンド・ジョンソンと共同で行われ、両社は早期に開発を終え、米国とアフリカに速やかにワクチンを送り届けたいとしています。

＜フィンランド、2年連続で“最も安定している国”と認定＞

The Fund for Peace(平和基金会)が発表した不安定国家ランキング2014において、フィンランドは2年連続、最下位である178位となり、“極めて安定している”カテゴリーに唯一分類され、“最も安定している国”と認定されました。同じ北欧のスウェーデンは177位でしたが、昨年分類された“極めて安定している”カテゴリーからは脱落しました。このランキングは民主主義の定着、経済状況、治安などといった12種目に分類された各項目のスコア合計でランキングが算出されます。ちなみに2014年のランキングトップは南スーダンとなりました。

＜ボルボ・カーズ(スウェーデン・自動車)、最高販売台数記録を更新＞

2014年のボルボ・カーズの自動車世界販売台数は46万6千台と対前年比9%の伸びとなり、2007年の最高販売台数記録を更新しました。同社は2010年に中国の自動車メーカーである吉利汽車の傘下に入って以降、中国の消費者の支持を増やしており、昨年同社の中国国内の売上増加率は33%を記録し、中国の自動車市場成長率の倍以上の水準となりました。同社乗用車は西欧でも販売台数を順調に伸ばしており、スウェーデン、ドイツ、英国でそれぞれ17%、18%、26%の販売台数の伸びを記録しています。同社は2015年も順調な販売を見込んでいるほか、今後5年間に随時モデルチェンジを行い、積極的なマーケティング活動を展開する予定です。

＜ノルウェー労働党支持率42%に上昇—12月の世論調査＞

2013年の総選挙で敗れ、下野したノルウェー労働党(ノルウェー最大の社会民主主義政党)の政党支持率は12月の世論調査でトップとなる42%であったことが判明しました。これを議席(全議席は169議席)に割り当てれば労働党は現行よりも23議席増やし、78議席を確保する計算となります。その一方で、保守系連立少数与党支持率は保守党が22%、進歩党が12%となり、両党併せて現在77の議席を57議席まで減らす計算になります。原油安や欧州の経済成長鈍化の逆風下、政権与党は、さらに難しいかじ取りを迫られることが想定されます。

*上記は文中に登場する企業等に関連する特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。

出所:各種資料をもとに当社作成



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、北欧の資本市場と政治、経済等に関する情報を提供することを目的として作成したものです。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点でのものであり、予告なく変更する場合があります。